長期間働きなり、仕事を諦めた人はミッシングワーカーと言われ問題　始めています。四十代、五十代、独身中高年は六百五十万人（に）そのち六人に一人が働いていません。

働くことを諦めて（あきらめる）

五十７歳で（ごじゅう为什么打不出来）独身のさざ（佐々）木、７年前、介護（かいご）しておたち　無くなり、一人なりました。しかし、介護の負担がなくなった後（あと）も、働くことはできっていません。

はい、これで終わり。味付けは？（あじつけ）

ないんです　調味料（ちょうみりょう）は使わないんです。

おいしいですか？　美味しいですか？

じゃ、味は全く（まったく）しません。

おいしい味に（じゃ？？？）慣れると　困るんですね

おいしい味に慣れるとすぐに（直ぐに）外（そと）食べに行きたくなる

なくなった親が残った貯金（ちょきん）で切り詰めった（きりつめる　节衣缩食）生活をくっています（食っています）。

日課（にっか 每天必做的事情）は父o　ゆっ飼った大切　おかめいんこ（鸡尾鹦鹉）の世話です。

ま、唯一（ゆいい）の家族みたいなもの　この鳥がいると安心する

佐々木さんは大学卒業後（そつぎょうご）電気機器（でんき　きき）メーカーがある　正社員（せいしゃいん）として働いていました。

職場（しょくば）では、マラソン ？？？ 充実日々（じゅうじつひび）をおくでいました。

しかし、二年後母をやか無くなると　父親（ちちおや）から家業の布団

付いで欲しいと頼まれました。

それ以来、父親（ちちおや）と\*\*\*で自営業（じえいぎょう）の布団

四十代半ば（なかば）父親（ちちおや）腰弱り（よわり）  
アルツハイマーの症状（しょうじょう）も現れてしました。

父親（ちちおや）の年金は？すき？十万円。そのうかねで入る経説？ありませんでした

仕事と介護うかかえ、佐々木さんは追い詰めれたいきますた

更に（さらに）頻繁（ひんぱん）に痰（たん）をしたり点滴（てんてき）をしたりするなど、ゆっくり仕事もできないほど、父親（ちちおや）の介護に終わるようになりました

仕事ができなくなり、布団や廃業（はいぎょう）　すき十万円父親（ちちおや）の年金だけで、生活しなければなりました。

体重は三十キロ減る（へり）体力も気力も奪（うば）れきいました。

ちょうど　この辺り（あたり）ですね　介護中に痛めた腰がまだ治りけっていない

介護の負担が無くなっても すぐに仕事再開する自信をもらってませんでした

　なんでこんなふうに　なったんだろう

いま　親族（しんぞく）と疎遠（そえん）になり　正月（しょうがつ）も一人ですごして佐々木さん、ある寒い朝、おかめいんこが突然（とつぜん）死んでいました

辛い（つらい）というか？

よめま？　つらさとかなしさ（悲しさ）より　なにか大きな穴（あな）があいた（開く）というか　なにか失ったという感じがしていますよね。

どいしていいからわず　苦しん（くるしん）でいます

今ところ

活き（いき）ていくのが精一杯（せいいっぱい筋疲力尽）いまの状況（じょうきょう）を変える　一変（いっぺw完全改变）方法が見つからない。

どう生きるか、目的（もくてき）は呆れ度？？？

ない状態（じょうたい）　見つからない状態ですね

佐々木さんは父親（ちちおや）の生前（せいぜん）介護の相談にのでくれた人と訪ねました。

ここしか（除了这里）頼れる（たよれ）場所（ばしょ）はありませんでした

弱虫（よわむし）なんですよ

例えば　よく自殺（じさつ）されるという方がいるじゃないですか

できないんですよ　あと一歩（いっぽ）がだめ

そんなこと　いったらあかん？？？　言ったらあかん